

太龍寺事業所安全報告書

2009年



太龍寺ロープウェイ

四国ケーブル株式会社

1. 利用者の皆様へ

当社の索道事業に対して、日頃のご利用とご理解、誠にありがとうございます。当社は、経営理念の第一に安全の確保を掲げ、法令の遵守とともに安全輸送に努めております。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取組みや安全の実態について、自ら振り返るとともに広くご理解いただくために公表するものです。皆様からの声を輸送の安全に役立てたく、是非、積極的なご意見を頂戴できれば幸いです。

今後とも、旅客運輸業の最大の使命であります安全輸送の確保を最優先に努めると共に、サービスの向上に最善の努力を図って参りますので、引き続きのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

四国ケーブル株式会社

社 長 赤 川 正 樹

2. 基本方針と安全目標

(1) 基本方針

***社是 お客様に安全・快適・感動の布施を行すること**

当社の経営理念の第一は、安全の確保です。「安全基本方針」を次のように掲げ、社長以下従業員全員に周知・徹底しております。

- ① 一致協力して輸送の安全の確保に努めること。
- ② 輸送の安全に関する法令及び関連する規程（安全管理規程を含む。以下、「法令等」という。）をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行すること。
- ③ 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めること。
- ④ 職務の実施にあたり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取り扱いをすること。
- ⑤ 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、速やかに安全適切な処置をとること。
- ⑥ 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保すること。
- ⑦ 常に問題意識を持ち、必要な変革に取り組むよう努めること。

(2) 安全目標

自社責任による事故発生をゼロにする。

3. 事故等の発生状況とその再発防止措置（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

(1) 索道運転事故

ありませんでした。

(2) 災害(地震や暴風雨など)

ありませんでした。

(3) 輸送障害(30分以上の遅延や運休)

- 1 平成20年12月3日～26日まで、原動滑車交換、索条交換、減速機オーバーホールのため運休しました。
- 2 強風による運休は、2日間延べ8時間20分ありました。
- 3 雷による運休は、1日、1時間25分ありました。
- 4 落雷による制御装置故障のため、1日、9時間の運休がありました。
- 5 平成21年2月2日、原動装置故障のため運休しました。

(4) インシデント(事故の兆候)

ありませんでした。

(5) 行政指導等

平成21年2月12日～13日、運輸局による保安監査が実施されました。

講評において、指摘事項、行政指導等の項目はありませんでした。

4. 輸送の安全確保のための取組み

(1) 安全重点施策

- ・ 基本動作の励行
- ・ 設備の老朽化による事故、輸送障害をなくする。(予防保全)
- ・ 係員のミスによる事故、輸送障害をゼロにする。

(2) 人材教育

- ・ 連絡会を定期的開催し、従業員の発言がし易い雰囲気作りに努め、その都度問題点、周知事項等の確認をする。
- ・ 従業員の業務上の体験(ヒヤリ・ハット等)・経験、お客様からのご意見、そして提案事項等、全員が内容を共有できるようにヒヤリ・ハットノートに記録する。

- ・ 技術係は定期的に勉強会を開催し、技術レベルの向上に努める。また、研修会資料、新聞等の事故事例を紹介し、類似事故防止に努める。

(3) 緊急時対応訓練

勤務割り表に搬器からの救助訓練、予備原動機運転訓練の予定を交互に入れ、習熟する。
また、年末年始輸送安全総点検に併せて、消防署の立会いの下、搬器からの救助訓練を実施する。

(4) 安全のための投資と支出

予防保全の理念の下、各設備の補修、更新を継続的に実施する。また、安全の維持・向上のため、安全管理委員会の巡回により不安全箇所を早期改修、改善を実施する。

上記、ヒヤリ・ハットノートの提案事項の内容を検討し、順次実施する。

* 平成20年度の主な保守実績は次のとおりです。

- 1 支柱 受索輪交換・・・・・・・・・・17組
- 2 懸垂索受用 受索輪交換・・・・・・・・・・8組
- 3 搬器 走行機2輪ビームセットのオーバーホール・・・・・・・・・・5組
- 4 搬器 走行機4輪ビームセットのオーバーホール・・・・・・・・・・7組
- 5 搬器 走行機オイルダンパー交換・・・・・・・・・・2本
- 6 搬器 走行機曳索ホルダーのオーバーホール・・・・・・・・・・4箇所
- 7 搬器 走行機ソケットメタル、ソケットブッシュ交換・・・・・・・・・・8箇所
- 8 搬器 窓(アクリルガラス)交換・・・・・・・・・・全数
- 9 搬器 扉スライダ交換・・・・・・・・・・全数
- 10 駅舎、機械装置等の塗装やり直し
- 11 常用制動機 油圧シリンダー交換・・・・・・・・・・1本
- 12 原動滑車交換・・・・・・・・・・内外用
- 13 ユニバーサルジョイント交換・・・・・・・・・・MM用
- 14 曳索 I、II 交換
- 15 主原動機ブラシ交換・・・・・・・・・・16個

* 平成21年度の投資予定は次のとおりです。

- ・ 搬器走行機のオーバーホール

- ・ シーケンサユニットのオーバーホール
- ・ 誘導滑車ゴムライナ交換
- ・ 支柱、懸垂索受用受索輪ライナ交換
- ・ 調節滑車調整用油圧シリンダーオーバーホール
- ・ オートバックコンのメーカー点検実施
- ・ 各種塗装工事

5. 当社の安全管理体制

社長をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者の責務を明確にしています。

- ・ 社長 輸送の安全確保に関する最終的な責任を負う。
- ・ 安全統括管理者 輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
- ・ 技術部副部長 安全統括管理者の指揮の下、安全統括管理者の安全に関する業務を補佐する。
- ・ 索道技術管理者 安全統括管理者の指揮の下、索道の運行の管理、索道施設の保守の管理その他の技術上の事項及び事故防止に関する事項の業務を統括管理する。
- ・ 事業所所長 索道技術管理者の指揮の下、索道技術管理者の業務を補佐する。
- ・ 運輸営業部長 輸送の安全の確保に必要な要員の確保に関する事項を統括する。
- ・ 総務経理部長 輸送の安全確保に必要な財務に関する事項を統括する。

当社、安全管理体制図は別図のとおりです。

末尾に別図添付

6. 利用者の皆様との連携とお願い

より安全で信頼される **ロープウェイ** をつくるため、皆様からの声を役立てます。ご意見をお寄せください。

『お客様の声をかたちにしていきます。』

7. ご連絡先

安全報告書へのご感想、当社の安全への取組みに対するご意見をお寄せください。

四国ケーブル株式会社

太龍寺ロープウェイ事業所

TEL 0884-62-3100 FAX 0884-62-3101

ホームページ <http://www.shikoku-cable.co.jp/>

E-mail info@shikoku-cable.co.jp

安全管理体制図

(別図)

四国ケーブル株式会社

